

富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業に関する

様式集

平成 30 年 12 月 10 日

富田林市

【様式 1】 入札説明書等に関する質問書

平成 年 月 日

富田林市長

入札説明書に関する質問書

「富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業」に関する入札説明書について、以下のとおり質問します。

質問者	所 在 会社名 代表者
-----	-------------------

質問箇所	書 類 名	
	ペ ー ジ	
	項 番	
	項 目	
質問内容		

注 1) 質問は、簡潔かつ具体的に記入すること。

注 2) 質問は、本様式 1 枚につき 1 件とする。質問が複数ある場合は、本様式を複写して用いること。

【様式2】参加申込書

平成 年 月 日

富田林市長

参加申込書

当社・グループは、平成30年12月 日付で公募された「富田林市下水道管渠長寿命化PFI事業」への参加を申し込みます。

グループ名			
代表企業	会社名		
	所在地		
	代表者氏名	④	
	担当者	氏名	
		所属・役職	
		電話	
FAX			
	電子メールアドレス		
構成員	会社名		
	所在地		
	代表者氏名	④	
構成員	会社名		
	所在地		
	代表者氏名	④	

注) 欄が足りない場合は、本様式に準じて適宜追加すること。

【様式3】構成員一覧

構成員一覧

グループ名			
代表企業	会社名		
	所在地		
	代表者氏名	㊟	
	担当者	氏名	
		所属・役職	
		電話	
		F A X	
	電子メールアドレス		
役割分担			
構成員	会社名		
	所在地		
	代表者氏名	㊟	
	担当者	氏名	
		所属・役職	
		電話	
		F A X	
	電子メールアドレス		
役割分担			
構成員	会社名		
	所在地		
	代表者氏名	㊟	
	担当者	氏名	
		所属・役職	
		電話	
		F A X	
	電子メールアドレス		
役割分担			

注1) 「役割分担」欄には、業務分担を簡潔に記入するものとし、一業務を複数企業で分担する場合にも各分担業務を記入すること。

注2) 資格を要する業務を担当する場合は、必要な資格を有する会社とすること。

注3) 欄が足りない場合は、本様式に準じて適宜追加すること。

【様式 4】 協力企業一覧

協力企業一覧

グループ名			
協力企業	会社名		
	所在地		
	代表者氏名	㊞	
	担当者	氏名	
		所属・役職	
		電話	
		F A X	
電子メールアドレス			
役割分担			
協力企業	会社名		
	所在地		
	代表者氏名	㊞	
	担当者	氏名	
		所属・役職	
		電話	
		F A X	
電子メールアドレス			
役割分担			
協力企業	会社名		
	所在地		
	代表者氏名	㊞	
	担当者	氏名	
		所属・役職	
		電話	
		F A X	
電子メールアドレス			
役割分担			

注 1) 「役割分担」欄には、業務分担を簡潔に記入するものとし、一業務を複数企業で分担する場合にも各分担業務を記入すること。

注 2) 資格を要する業務を担当する場合は、必要な資格を有する会社とすること。

注 3) 欄が足りない場合は、本様式に準じて適宜追加すること。

【様式 5】参加資格確認申請書

平成 年 月 日

富田林市長

参加資格確認申請書

平成 30 年 12 月 日付で公募された「富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業」に関する参加資格について確認願いたく、必要書類を添えて申請します。

また、入札説明書に定められた参加資格要件を満たしていること及び添付書類の内容が事実と相違ないことを誓約します。

グループ名			
代表企業	会社名		
	所在地		
	代表者氏名	⑨	
	担当者	氏名	
		所属・役職	
		電話	
		F A X	
電子メールアドレス			

## 【様式6】グループ協定書（参考）

### 富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業に関するグループ協定書（参考）

#### （目的）

第1条 本協定書は、当グループが富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業（以下「本事業」という。）に応募し、本事業に係る調査・改築、宅内における排水設備誤接続調査を遂行するに当たり、必要な事項を定めるものとする。

#### （名称）

第2条 当グループは、【グループ名称】と称する。

#### （成立の時期及び解散の時期）

第3条 当グループは、平成【 】年【 】月【 】日に成立し、富田林市との本事業に係る事業契約締結日以降は、本協定書に定める一切の権利義務を、当グループの構成員により組成される、本事業の遂行を事業目的とする特別目的会社（以下「本SPC」という。）に引き継ぐものとする。なお、当グループは、本事業に係る事業契約が契約期間の満了、解約、解除その他理由の如何を問わず終了した場合は、本SPCを解散しこれを清算する。

2 当グループは、富田林市と本事業に係る事業契約を締結できなかったときは、当該事業契約が締結された日をもって解散するものとする。

3 当グループは、本事業に係る応募を辞退したときは、当該応募を辞退した日をもって解散するものとする。

#### （構成員の所在地及び名称）

第4条 当グループの構成員は、次のとおりとする。

【代表企業所在地】

【代表企業名称】

【構成員所在地】

【構成員名称】

#### （代表企業の名称）

第5条 当グループは、【代表企業名称】を代表企業とする。

#### （代表企業の権限）

第6条 代表企業は、当グループを代表して、本事業に係る応募手続き及び事業契約を履行する権限を有するものとする。

#### （構成員の責任及び役割分担）

第7条 各構成員は、本事業に係る応募手続き及び事業契約の履行その他本事業の実施に伴い当グループが負担する責務の履行に関し、連帯して責任を負うものとする。

2 各構成員の本事業における役割分担は、次のとおりとする。

【代表企業名称】 【調査・改築、宅内における排水設備誤接続調査のうち該当する業務を記載】

【構成員名称】 【同上】

(権利義務の譲渡の制限)

第8条 本協定書に基づく権利義務は、他人に譲渡することはできない。

(構成員の変更)

第9条 富田林市の承認がなければ、構成員を変更することはできない。

(本協定の有効期間)

第10条 本協定の有効期間は、本協定締結の日から、第3条の規定により本SPCが解散しその清算が終了した日又は当グループが解散した日までとする。

(協定書に定めのない事項)

第11条 本協定書に定めのない事項については、構成員全員をもつての協議の上、定めるものとする。

【代表企業名称】他【代表企業を除く構成員数】者は、上記のとおり富田林市下水道管渠長寿命化PFI事業に関するグループ協定を締結したので、その証拠として本協定書【代表企業を含む構成員数】通を作成し、各通に構成員が記名捺印し、各自一通を所持するものとする。

平成【 】年【 】月【 】日

【代表企業名称】

【代表取締役氏名】 ㊟

【構成員名称】

【代表取締役氏名】 ㊟

## 【様式7】協力協定書（参考）

### 富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業に関する協力協定書（参考）

【グループ名称】の富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業（以下「本事業」という。）への応募に当たって、【協力企業名称】は、本事業の趣旨に賛同するとともに、【グループ名称】が本事業の事業実施者と決定されたときは、本事業の円滑な推進に貢献するため、【調査・改築、宅内における排水設備誤接続調査のうち該当する業務を記載】を担う協力企業として、【グループ名称】に全面的に協力することについて、【グループ名称】の代表企業である【代表企業名称】と確認し、ここに協力協定を締結する。

平成【 】年【 】月【 】日

【グループ名称】代表企業

【代表企業所在地】

【代表企業名称】

【代表取締役氏名】 ㊟

【グループ名称】協力企業

【協力企業所在地】

【協力企業名称】

【代表取締役氏名】 ㊟

【様式 8】 参加辞退届

平成 年 月 日

富田林市長

参加辞退届

当グループは、平成 30 年 12 月 日付けで公募された「富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業」への参加を申し込みましたが、都合により辞退します。

グ ル ー プ 名		
代表企業	会 社 名	
	所 在 地	
	代 表 者 氏 名	⑩
	担 氏 名	
	当 所 属 ・ 役 職	
	者 電 話	
	F A X	
	電子メールアドレス	

【様式9】提案書

# 提案書

富田林市長 様

(税抜き価格を記載すること)

		億	千万	百万	拾万	万	千	百	拾	壺
金額	¥									

※ 最低制限価格以上予定価格以下で記載のこと。(範囲外は失格する。)

事業名 富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業

入札説明書等を承諾し、上記価格並びに以下のとおり提案します。

平成 30 年 月 日

住所

業者名

代表者名

印

使用印 (委任状で参加の方は不用)

上記代理人氏名

印

委任状で参加の方は受任者の印

(注意)

1. 数字は、算用数字を用いてください。
2. 金額の訂正は無効です。
3. 入札者の記名押印の無いものは無効です。
4. 委任状で参加の方は、受任者印、それ以外の方は使用印を捺印してください。
5. 使用印とは、本市の入札参加申請で登録している印とする。

## 第1章 市費用の低減化に関する事項

### (1) 建設等コストの提言

第1章 市費用の低減化に関する事項

(2) 無償で対応できる修繕業務内容及び費用の範囲

--

## 第2章 義務事業に関する事項

### (1) 管更生工事

## 第2章 義務事業に関する事項

### (2) 人孔蓋取替工事

## 第2章 義務事業に関する事項

(3) 管更生工事と人孔蓋取替工事について広報活動の実施方法、住民並びに関係機関等との工事打合せからのフロー及びスケジュール、実施体制

## 第2章 義務事業に関する事項

### (4) 管更生工事と人孔蓋取替工事の標準仕様と標準工事手順

## 第2章 義務事業に関する事項

(5) 柵及び取付管調査について広報活動の実施方法、住民等との打合せからのフロー及びスケジュール、実施体制

## 第2章 義務事業に関する事項

(6) 排水設備誤接続調査について広報活動の実施方法、住民等との打合せからのフロー及びスケジュール、実施体制

### 第3章 付帯に関する事項

#### (1) 排水設備誤接続解消工事を行ってもらう為の住民への広報活動の実施内容

### 第3章 付帯に関する事項

#### (2) 不明水対策の効果測定方法

第4章 PFI事業者（SPC）の財政基盤、事業信頼性、技術力、地域貢献

(1) 資金計画、収支計画等の財政基盤、資金計画の確実性、金融機関との調整内容

(参考)

1. 資本金

〇〇〇〇万円

なお、単独企業提案であり出資比率100%とする。

2. 資金計画（金融機関との調整内容）

本事業に対する弊社資金計画については、現在十分な流動性資金を保有しており、新たに資金調達を行う必要はないと考えるが、SPCの独立性を考慮し、以下の条件で融資提案を取り付けている。

- ・ 科目            〇〇〇〇
- ・ 金額            〇〇〇〇円
- ・ 期間            契約日から〇〇〇〇
- ・ 金利            〇〇〇〇%
- ・ 返済方法       〇〇〇〇弁済
- ・ 利払日         〇〇〇〇
- ・ 担保            あり・なし
- ・ 保証人         〇〇〇〇

※上記の融資提案については、〇〇銀行〇〇支店より提示されている。

(別添資料参照)

3. 収支計画

(1) 建設費収支計画

- ・ 収入    :   〇〇〇〇円（サービス購入料）
- ・ 支出    :   〇〇〇〇円                      利益    :   〇〇〇〇円（利益率：〇〇%）

支出明細

- ①       〇〇〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・ 〇〇〇〇円
- ②       〇〇〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・ 〇〇〇〇円

第4章 PFI事業者（SPC）の財政基盤、事業信頼性、技術力、地域貢献

(2) 加入する予定の損害保険とその内容

(参考)

(1) ○○保険

① 保険の概要 : ○○○○

② 契約形態 : ○○○○

③ 保険期間 : ○○○○

(2) ○○保険

① 保険の概要 : ○○○○

② 契約形態 : ○○○○

③ 保険期間 : ○○○○

第4章 PFI事業者（SPC）の財政基盤、事業信頼性、技術力、地域貢献

（3）市内における公共事業の実績内容（過去10年間の実績）

--

第4章 PFI事業者（SPC）の財政基盤、事業信頼性、技術力、地域貢献

（4）管工事業の経審の点数

--

第4章 PFI事業者（SPC）の財政基盤、事業信頼性、技術力、地域貢献

（5）構成会社又は協力会社の何れかが富田林市内本店業者

## 第5章 その他

### (1) その他の提案事項

【様式10】誓約書

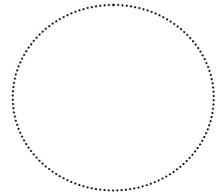
誓 約 書

平成 年 月 日

富 田 林 市 長 様

申請者  
事業場所在地  
商号又は名称  
代表者職氏名

実印



私は、上記事業場所在地にて〇〇業を営み、下記に掲げる要件に該当する者でないことを誓約します。

記

- 1 競争入札に係る契約を締結する能力を有しない者
- 2 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 3 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者